

科学研究費

● 31課題:1億3976万円

	年 度	研究代表者	研究 課 題	研究 種 目	配分額
					(万円)
1	平成10-11年度	野中 聡	動物実験によるLombard Reflex 誘発神経回路の解析	基盤研究(C)	270
2	平成11-12年度	林 達哉	内喉頭筋運動ニューロン活動に対するセロトニン、サブスタンスPの影響	奨励研究(A)	200
3	平成11-13年度	原淵保明	鼻性T/NK細胞リンパ腫における腫瘍分子生物学的、免疫遺伝子学的、EBウイルス学的解析	基盤研究(B)	1490
4	平成12-13年度	片田彰博	喉頭反射の神経機構	奨励研究(A)	210
5	平成13-14年度	野中 聡	喉頭機能障害に対する新治療法の検討ー機能的電気刺激を用いた機能回復の試みー	基盤研究(C)	90
6	平成13-14年度	原淵保明	反復性扁桃炎・中耳炎に対するペプチドワクチン療法の開発	萌芽的研究	190
7	平成14-15年度	安部裕介	インフルエンザ菌P6蛋白抗原エピトープの解析	若手研究(B)	270
8	平成16-17年度	坂東伸幸	頭頸部癌におけるHLA class I の発現低下とペプチドトランスポーターの役割	若手研究(B)	350
9	平成16-17年度	荻野 武	HLA class I 分子による効率的な抗原提示を目指した頭頸部癌治療法の基礎的研究	基盤研究(C)	360
10	平成17-18年度	安部裕介	インフルエンザ菌に対するペプチドワクチンの開発	若手研究(B)	360
11	平成17-19年度	原淵保明	鼻性NK/T細胞リンパ腫のEBウイルスを標的とした新たな診断法・治療法の開発	基盤研究(B)	1077
12	平成18年度	安部裕介	シラカンバ花粉症に対するワクチン療法の開発 (独創性のある生命科学研究)	学長裁量経費	100
13	平成18-19年度	坂東伸幸	扁桃病巣感染症における病態の解明と扁桃摘出術の有用性に関する基礎的エビデンス	基盤研究(C)	377
14	平成19-20年度	高原 幹	鼻性NK/T細胞リンパ腫におけるEBウイルス膜蛋白の発現機構と機能解析	若手研究(B)	378
15	平成19-20年度	片田彰博	機能的電気刺激の内喉頭筋再支配に対する影響	基盤研究(C)	455
16	平成20-22年度	坂東伸幸	扁桃病巣疾患の病態解明と扁桃摘出術の有用性の予測法の開発	基盤研究(C)	455
17	平成20-22年度	原淵保明	鼻性NK/T細胞リンパ腫におけるEBウイルス標的治療に向けた基礎的研究	基盤研究(B)	1456
18	平成21-22年度	高原 幹	鼻性NK/T細胞リンパ腫におけるEBウイルス膜蛋白の制御機構と機能解析	若手研究(B)	429
19	平成21-23年度	片山昭公	高分子黒色腫抗原を標的とした頭頸部扁平上皮癌に対する抗体療法の研究	基盤研究(C)	455
20	平成22年度	岸部 幹	鼻性NK/T細胞リンパ腫におけるmicroRNAの発現解析	研究活動 助成事業	50
21	平成23年度	野村研一郎	喉頭ベーシングの改良に関する研究 (独創性のある生命科学研究)	学長裁量経費	100
22	平成23-24年度	岸部 幹	鼻性NK/T細胞リンパ腫におけるmicroRNAの発現	若手研究(B)	416
23	平成23-24年度	長門利純	鼻性NK/T細胞リンパ腫におけるケモカインおよびケモカインレセプターの解析	基盤研究(C)	429
24	平成23-25年度	高原 幹	扁桃病巣疾患における病態解明と扁桃摘出術の有用性に関する基礎的エビデンス	基盤研究(C)	507
25	平成23-25年度	片田彰博	電気刺激による内喉頭筋の再運動化と筋萎縮の抑制に関する研究	基盤研究(C)	520
26	平成24年度	駒林優樹	鼻性NK/T細胞リンパ腫におけるEBV-microRNAの機能解析 (独創性のある生命科学研究)	学長裁量経費	50
27	平成24年度	片田彰博	機能的電気刺激による喉頭の動的機能再建に関する研究 (独創性のある生命科学研究)	学長裁量経費	150
28	平成24-26年度	熊井琢美	ErbBファミリーを標的とした頭頸部癌の免疫治療に向けた基盤研究	若手研究(B)	429
29	平成24-25年度	野村研一郎	喉頭ベーシング改良に関する研究	若手研究(B)	286
30	平成24-26年度	原淵保明	鼻性NK/T細胞リンパ腫に対するEBウイルス・腫瘍増殖分子標的治療の基盤的研究	基盤研究(B)	1833
31	平成25-26年度	駒林優樹	鼻性NK/T細胞リンパ腫の病態におけるEBウイルスmicroRNAの機能解析	若手研究(B)	234
				合 計	13,976